

平成 27 年度 北海道大学低温科学研究所共同利用研究集会プログラム

雪氷の生態学 (9)

多雪地帯における水・物質循環に関する総合研究

2016 年 2 月 18 日 (木)

[北大低温研研究棟 2 階会議室]

- 13:00-13:05 所長挨拶 江淵直人 (低温科学研究所)
- 13:05-13:10 趣旨説明 (代表者: 国立環境研・野原精一)
- 13:10-14:00 「氷雪性クロロモナス属 (緑藻綱, ボルボックス目) の種レベルの分類学的再検討」松崎令 (東京大学)・豊岡博子 (東京大学)・原慶明 (前山形大学)・野崎久義 (東京大学)
- 14:00-14:50 「尾瀬ヶ原の生物地球化学的研究」楊宗興・田代悠人 (東京農工大学)
- 14:50-15:00 休憩
- 15:00-15:30 「ALOS/PALSAR データ解析に基づく厳冬期の多雪高層湿原における水の浸潤条件」豊崎徳久、小川佳子、久田泰広、出村裕英 (会津大学)、祖父江真一 (RESTEC)
- 15:30-16:00 「尾瀬のアカシボ現象と水・物質循環」野原精一 (国立環境研)
- 15:30-16:00 「UAV を使った雪氷の調査・解析技術」小玉哲大 ((株) フォテク)
- 16:00-16:30 「尾瀬ヶ原の雪中無脊椎動物の進捗状況」木村直哉 (弘前)・鳥居高明 (いであ)・中村剛之・大高明史
- 16:30-17:00 「尾瀬の研究とアカシボ現象のいちづけ-融雪の生態系への影響-」福原晴夫 (河北潟湖沼研究所)
- 17:00-17:30 「アカシボ微生物の FISH 解析」小島久弥・福井学 (北海道大学)
- 17:30-18:00 総合討論「多雪地帯における水・物質循環に関する総合研究」野原精一・亀山哲 (国立環境研)・木村直哉・大高明史 (弘前大)・鳥居高明 (いであ)・落合正宏 (前徳島文理大)・山本鎔子 (前明治大)

<問合せ>

研究集会代表: 野原精一 (国立環境研)

世話人: 福井 学 (北大・低温研)

my-fukui@lowtem.hokudai.ac.jp